

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 温泉カビ苔ヌメリ取り
会社名 町田商事株式会社
住所 東京都練馬区東大泉7-25-1
電話番号 03-5905-5670
FAX 番号 03-5905-5674

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1

※上記で記載の無い危険有害性情報は区分に該当しない(分類対象外含む)及び分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 呼吸器への刺激のおそれ 水生生物に非常に強い毒性
注意書き	
安全対策	保護手袋・保護眼鏡着用 スプレーでの使用はミストを吸入するので不可 屋外又は換気の良い場所で使用する 酸性液と混触すると二酸化塩素ガスが発生する 他の薬品と混触不可 環境への放出を避ける
応急措置	飲み込んだ場合は直ちに口を濯ぎ医師の診察を受ける 眼に入った場合流水で数分間よく洗う。次にコンタクトレンズ着用で容易に外せる場合は外して洗浄を続け医師に連絡する 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させる 4項参照

温泉カビ苔ヌメリ取り
保管 容器を密閉し換気の良い場所で保管する 他の洗剤と混触不可
廃棄 内容物／容器を都道府県、市町村の規則に従って廃棄する

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物
成分・含有量 亜塩素酸 Na の液体 塩素濃度 1.3%以上 他
CASNO 7758-19-2

4. 応急処置

吸入した場合 ・直ちに被災者を新鮮な空気の有る場所に移し症状により医師の診察を受ける
皮膚に付着した場合 ・直ちに水で良く洗い流す
目に入った場合 ・直ちにまぶたを開いて流水で洗眼し（5分以上）医師の診察を受ける
飲み込んだ場合 ・直ちに口を濯ぎ医師の診察を受ける 無理に吐かせない
急性症状及び遅発性症の最も重要な徴候症状 情報無し
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 情報無し
医師に対する特別な注意事項 情報無し

5. 火災時の処置

適切な消火剤 ・不燃性物質 周辺火災に適した消火剤を使用する
使ってはならない消火剤 ・炭酸ガス粉末消火剤は避ける
特有の危険有害性 ・火災により支燃性酸素ガスが発生するおそれがある
特有の消火方法 ・不燃性物質 危険でなければ容器を火災区域から移動する
消火を行う者の保護具及び予防措置 ・空気呼吸器を含め適切な保護具を着用する

6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
・腐食性の為、保護具を着用する
環境に対する注意事項・河川に流れない様に回収する・多量の場合は還元剤(塩素中和剤)で中和する。環境への排出を避ける
封じ込め及び浄化の方法及び機材
・
二次災害の防止策 ・酸性液と混触しない

7. 取り扱い及び保管上注意

取扱い
技術的対策 ・斜面での使用は容器転倒に注意する
・容器を転倒若しくは落下する等の衝撃を与えない
・局所排気、全体換気を行う
安全取扱い注意事項 ・作業中は換気を良くする・保護手袋ゴーグル型眼鏡を使用する
環境により簡易雨具を着用し皮膚に掛からぬ様注意する
・取説、SDSを参照してから使用する
接触回避 ・酸性液、過水とは混触しない（二酸化塩素ガスが発生する）
アルミ製品、ブリキは不可 金属類を
衛生対策 ・取扱後は手を洗う

保管

- 安全な保管条件
- ・密栓した容器で直射日光を避け換気の良い冷暗所で保管する
 - ・金属の混入や接触を避ける アルミ製品は不可
 - ・酸性液、過水とは混触しない（二酸化塩素ガスが発生する）
 - ・盗難に注意する
- 安全な容器包装材料
- ・塩ビ、ポリエチレン等の石油製品を使用する
 - ・アルミ製品、ブリキは不可

8. ばく露防止及び保護処置

- 設備対策
- ・特に記す事はい
- 管理濃度
- ・設定されてない
- 許容濃度
- ・設定されてない
- 保護具
- 呼吸器の保護具
- ・状況によりカルキ入り保護マスク使用
- 手の保護具
- ・ゴム手袋 穴が開いていないか確認する
- 目、顔面の保護具
- ・ゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具
- ・状況により簡易雨具着用

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態、色
- ・薄黄色液体
- 臭い
- ・強い塩素臭がする
- 融点・凝固点
- ・データ無し
- 沸点又は初留点及び沸点範囲
- ・データ無し
- 可燃性
- ・不燃性物質
- 爆発下限界及び爆発上限界範囲
- ・データ無し
- 引火点
- ・データ無し
- 自然発火点
- ・不燃性物質
- 分解温度
- ・データ無し
- pH
- ・1.2～1.4
- 動粘性率
- ・データ無し
- 溶解度
- ・水に溶解
- n-オクタノール/水分配係数
- ・データ無し
- 蒸気圧
- ・データ無し
- 密度及び/又は相対密度
- ・比重 1.255 (20℃)
- 相対ガス密度
- ・データ無し
- 粒子特性
- ・データ無し
- その他のデータ
- ・特になし

10. 安定性及び反応性

- 反応性
- ・酸との混触で有毒な二酸化塩素ガスが発生する
- 化学的安定性
- ・高温、紫外線に於いて徐々に分解する
- 危険有害反応可能性
- ・酸との混触で有毒な二酸化塩素ガスが発生する
- 避けるべき条件
- ・酸、他の化学薬品、洗剤との混触、高温
 - ・アルミ製品、ブリキは不可
- 混触危険物質
- ・アミン、アンモニア不可（三塩化窒素ガスが発生する）
 - ・酸、他の化学薬品、洗剤との混触

- 危険有害な分解生成物・酸との混触で有毒な二酸化塩素ガスが発生する
- ・当品自体は反応しないが高温にすると含有成分が放出し危険で有る

1 1. 有害性情報

急性毒性

- 経口
 - ・ 経口投与 マウスLD50 15～6.8 mg有効塩素 10% (区分4)
- 経皮
 - ・ 区分に該当しない
- 吸入(気体)
 - ・ GHS 定義における液体
- 吸入(蒸気)
 - ・ データ無し
- 吸入(粉じん、ミスト)
 - ・ データ無し
- 皮膚腐食性/刺激性
 - ・ 皮膚腐食性有り皮膚、眼、粘膜を激しく刺激する (区分1)
 - ・ 皮膚に触れたら即水洗いする。ミストを吸入しない
- 眼に対する損傷性/眼刺激性
 - ・ 即洗眼しないと角膜を損傷し失明する恐れが有る(区分1)
- 呼吸器感作性
 - ・ データ無し 使用時はカルキ入りマスクを使用する
- 皮膚感作性
 - ・ 区分に該当しない
- 生殖細胞変異原性
 - ・ 区分に該当しない
- 発がん性
 - ・ IARC・NTP・産衛学会に記載されていない
- 生殖毒性
 - ・ データ無し
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
 - ・ 眼及び上気道の刺激性が報告されている
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
 - ・ データ無し
- 誤えん有害性
 - ・ データ無し

1 2. 環境影響情報

生態毒性

- 水生環境有害性 (短期/急性)
 - ・ 甲殻類 48 時間 EC50=0.0146ppm 水性生物に強い毒性 (区分1)
- 水生環境有害性 (長期/慢性)
 - ・ データ無し 上記の情報により (区分1)
- 残留性・分解性
 - ・ 分解性有り
- 生体蓄積性
 - ・ データ無し
- 土壌中の移動性
 - ・ データ無し
- オゾン層への有害性
 - ・ データ無し

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物
 - ・ 塩素中和剤で中和し多量の水で希釈して廃棄する
 - ・ 河川法、水質汚濁防止法及び地方条例に従う事
 - ・ 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼する
- 汚染容器及び包装
 - ・ 空容器を廃棄する場合は良く濯ぎ洗いする事
 - ・ 各自治体の基準に従って処分する

1 4. 輸送上の注意

- 国際規制
 - ・ 腐食性物質 施行規則 194 条 ICAO/IATA の規定に従う事
Class 8 Packing group III
- 国内規制
 - ・ 腐食性物質 国内法に従う
- 特別な安全対策
 - ・ 容器の破損、漏れが無い事を確認する
 - ・ 荷崩れ防止を確実に行う

15. 適用法令

- | | |
|-----------|------------------------------|
| 労働安全衛生法 | ・ 非該当 対象物に該当しない |
| 消防法 | ・ 非該当 |
| 水質汚濁防止法 | ・ 非該当 河川法及び地方条例に従う事 |
| 毒劇法（薬事法） | ・ 非該当（普通物） |
| 海洋汚染防止法 | ・ 施行令別表第一 有害物質 |
| P R T R 法 | ・ 非該当 指定物質に該当しない |
| 航空法 | ・ 施行規則第 194 条告示別第 1 腐食性物質 |
| 船舶安全法 | ・ 危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1 腐食性物質 |

16. その他の情報

引用文献

- ・ 事故災害例無し
 - ・ 化学薬品混触危険ブック東京消防庁編
 - ・ 厚生労働省生活衛生局化学品安全課
 - ・ (社) 日本化学工業会
 - ・ 化学工業日報
- 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています